

案件、仕様書、作業工数の連携管理により、伝達ミスを解消

株式会社日本サーキット

代表取締役 酒井 哲広氏 / 常務取締役 管理本部長 田原 時男氏 / 開発部 PCB 開発課 課長 親川 健氏 / 経営企画室 新規事業企画担当 辻 智之氏

電子基板の設計・開発やソフトウェア開発などを手がける日本サーキット。高い技術力を持つ同社では、大手電機メーカーのオーディオ製品など、多くの基板開発を手がけている。それらを裏で支えているのが、「サイボウズ デヂエ」で作成した業務ツールだという。案件の発生から作業工数まで連携管理しているという、その活用方法を伺った。

活用方法：案件から作業工数までを連携管理してミスを削減

見積、受注などに加えて、開発工程ごとの仕様書作成など、基板開発ならではの業務が多い同社。「サイボウズ デヂエ」導入前はMicrosoft Accessで作成したシステムで案件を管理していた。

しかし、案件登録はAccessで行っているものの仕様書は紙で管理しており、案件登録時の情報と仕様書のつじつまが合わないことも起きていたという。

また、カスタマイズや改善を行いたい場合には、作成した担当者でないと変更できなかった。

そこで、新しいシステムの導入を検討したのである。

「毎日改善できるものでないと意味がない。」

そう考える代表取締役の酒井氏にとって、業務システムに求めるものは「現場当事者が自分でカスタマイズできること」だった。

そこで見つけたのが、Web ブラウザーから簡単に業務ツールを作成・カスタマイズできる「サイボウズ デヂエ」だった。



代表取締役 酒井 哲広氏

そして、現場担当者によって作成されたものが次の4つである。

1. JOB コード登録（案件リスト）

受注 / 失注にかかわらずすべての案件が登録されるデータベース。

案件を登録すると自動的に「JOB コード」と呼ばれる案件番号が割り振られ、見積、仕様書作成などすべての書類で、統一してこの番号を利用している。

JOB CODE	顧客略称	案件名	環境対応	営業	受注・失注	客先注文NO
J2081738		簡易基板		藤島	A	
J2081737		基板PCB製作		山岸	A	
J2081736			SONY GP	山岸	A	
J2081735				山岸	A	
J2081734		（佐久間美）4月(3/16-3/31)		山岸	受注	
J2081733		（変更）		井戸川	B	
J2081732		基板PCB製作・実装		井戸川	受注	S090317-5
J2081731		温度センサー用治具	鉛フリー	山岸	A	
J2081730				井戸川	受注	204439180-00
J2081729		社内用)ASQ向けPCB社USBデータ 6月16日～6月30日		山岸	受注	
J2081728		社内用)ASQ向けPCB社USBデータ 5月16日～6月15日		山岸	受注	
J2081727		社内用)ASQ向けPCB社USBデータ 4月16日～5月15日		山岸	受注	
J2081726		社内用)ASQ向けPCB社USBデータ 4月1日～4月15日		山岸	受注	

案件、仕様書、作業工数の連携管理により、伝達ミスを解消

2. 仕様確認書

顧客要求事項など、開発の上流工程で定義される仕様を記入する。
 開発に関わる案件の場合、「JOBコード登録」と同時に登録される。
 JOBコードなど、「JOBコード登録」に登録されている情報は、連携機能により自動入力できる。

3. 基板登録

仕様確認書に基づき、設計担当者が登録する。
 設計担当者は開発状況に応じて進捗を入力する。
 また連携機能により、基板に関する仕様確認書や日報管理をワンクリックで閲覧できる。

CAD-No	JOBコード	顧客名称	基板名	設計担当者	数量(個)	ステータス	ネット完了	部品完了	厚配完了	配線完了	検閲完了	出力完了	出力予定	デバイス
C20889	J2081211	伊藤	RESB Board【送付付 図】	伊藤		作業中							2009/3/27	
C20890	J2081706	白田	PCB PANEL DR1 改 図	白田		作業中			2009/3/17	2009/3/17			2009/3/18	
C20897	J2081483	梅田	PCB SYS W02 G 図	梅田		作業中								
C20896	J2081714	新田	AG091PAS15 KURUC 基板	新田		終了								
C20895	J2081714	新田	AG091PAS15 KURUC- E1	新田		終了		2009/3/16	2009/3/17	2009/3/17	2009/3/17	2009/3/17		
C20894	J2081714	新田	AG091PAS15 KURUC- E1	新田		終了		2009/3/16	2009/3/17	2009/3/17	2009/3/17	2009/3/17		
	J2081714													

案件、仕様書、作業工数の連携管理により、伝達ミス进行消

4. 日報管理

設計担当者はJOBコード、作業時間などを日報として入力する。
これにより、案件ごとにかかった工数をひと目で把握できる。

登録者	日付	JOBNO	業務記号	業務内容	時間(分)	顧客名称	案件名	エンドユーザー
杉本 結	2008/5/7	J090114	E4	パターン設計	60	東洋印刷		
杉本 結	2008/5/7	NI	00	経理	70			
杉本 結	2008/5/7	NI	P0	総務関連業務	10			
倉田	2008/5/7	NI	B1	デバイス調達	30			
倉田	2008/5/7	NI	E2	部品作帳	50			
船田	2008/5/1	J090113	Y2	開発環境整備	20	東芝デバイス		
船田	2008/5/1	J090113	D5	理出書操作机	60	東芝デバイス		
杉本 結	2008/5/7	J090042	J2	外注管理	20	シャープ		
倉田	2008/5/1	NI	B1	デバイス調達	80			
杉本 結	2008/5/2	NI	00	経理	80			
杉本 結	2008/5/1	NI	00	経理	15			
杉本 結	2008/5/1	NI	00	経理	50			
杉本 結	2008/5/1	NI	P0	総務関連業務	30			
寺野	2008/5/7	J090020	A3	産科調達	20	JC		
船田	2008/5/1	NI	B0	J2は外注委託社	40			

大規模な基板開発では、ひとつの案件に対して仕様確認書や基板登録が多数発生する。

煩雑になりがちなこれらの情報を、紙での受け渡しから「サイボウズ デヂエ」に変更したことによって、案件登録時の情報と仕様書のつじつまが合わないといった問題は激減したそう。

これは「サイボウズ デヂエ」のリレーション（連携）機能があったからこそ、と開発部の親川氏は言う。

仕様確認書や基板登録を起こす際、「JOBコード登録」に登録されている情報は自動的に反映される。そのことによって、入力ミスや見落としはなくなった。

また、かねてから親川氏が要望していたリレーション機能の強化が「サイボウズ デヂエ」バージョン 8 に搭載されたことも大きかった。

この機能強化によって、案件に関する「日報」や「仕様確認書」などをワンクリックで確認できるようになったからだ。

これにより、前工程・後工程の情報を確認しやすくなり、より伝達ミスや確認漏れを防ぐことができるのである。



開発部 親川 健氏

案件、仕様書、作業工数の連携管理により、伝達ミス进行消

その他の活用方法 クレーム報告の徹底により、件数が増加!?



▲常務取締役 田原 時男氏

同社では納品物へのクレーム対応にも「サイボウズ デヂエ」を活用している。この「クレーム通知書」は、発生したクレームは各責任者へ自動でメール通知され、全員で内容を共有できるツールである。

実はこのツールを導入したことにより、かえってクレーム件数は増えたそう。しかし、それは「今まで報告されてこなかったクレームもきちんと責任者に届くようになったということ」と常務取締役の田原氏は肯定的に捉えている。

クレームを周知し、きちんと対策を行うことで、同じミスを繰り返さない体制を構築できるのである。

クレーム通知書

クレームが発生した際は、まず営業担当が「クレーム通知書」へ内容を入力する。品質保証担当がチェックを完了すると、自動で各部の責任者へメールで通知する。責任者は必要に応じて対策会議を行い、対応策や回答を行う。

発行番号	発行日	発行者	顧客名	製品名	JOB NO.	発生日	希望回答日	報告書	クレーム区分	対策部門	対策確認日
JQ089086	2009/4/30	井戸川	J2081741	2009/4/30	2009/5/14	不要	...	購買	
JQ089081	2009/4/21	井戸川	J2080048	2009/4/21	2009/4/28	不要	...	業務	
JQ089093	2009/3/18	井田	J2081469	2009/3/17	2009/3/23	正式	...	CAO	
JQ089098	2009/3/16	井田	J2081124	2009/3/16	2009/3/19	正式	...	CAO	
JQ089088	2009/3/10	井田	J2081470	2009/3/5	2009/3/17	正式	...	業務	
JQ089086	2009/1/23	藤島	J2080576	2009/1/21	2009/1/26	簡易	...	IT	
JQ089084	2009/1/26	井田	J2081049	2009/1/22	2009/1/26	正式	...	営業	
JQ089081	2009/1/13	山岸	J2080599	2009/1/9	2009/1/13	不要	...	業務	
JQ089088	2009/1/13	井田	J2080811	2009/12/19	2009/1/20	簡易	...	CAE	
JQ089078	2009/1/13	井田	J2080811	2009/1/15	2009/1/19	簡易	...	業務	
JQ089077	2009/1/7	藤島	J2081309	2009/1/6		不要	...	業務	
JQ089072	2009/12/26	藤島	J2081043	2009/12/12	2009/1/9	正式	...	営業	
JQ089071	2009/12/25	藤島	J2081042	2009/12/25	2009/1/15	簡易	...	業務	

ツールの活用でさらなる技術力の向上を目指す

このように改善を繰り返したツールによって、過去の案件やクレームの検索も容易になった。しかし、「同じ案件だからと言って安易に”リピーター”とは考えないようにしている」と酒井氏は言う。過去の情報を確認することで、もっと改善できる余地はないかを追求しているのだそうだ。

ツールに使われるのではなく、ツールを使ってさらに改善し続けていく姿勢があるからこそ、同社の技術力は磨かれていくのである。